

## 閣議及び閣僚懇談会議事録

開催日時：平成30年4月17日（火） 8：35～8：43

開催場所：総理大臣官邸閣議室

出席者：安倍晋三 内閣総理大臣

麻生太郎 国務大臣（副総理，財務大臣，内閣府特命担当大臣）

野田聖子 国務大臣（総務大臣，内閣府特命担当大臣）

上川陽子 国務大臣（法務大臣）

河野太郎 国務大臣（外務大臣）

林芳正 国務大臣（文部科学大臣）

加藤勝信 国務大臣（厚生労働大臣，内閣府特命担当大臣）

齋藤健 国務大臣（農林水産大臣）

世耕弘成 国務大臣（経済産業大臣，内閣府特命担当大臣）

石井啓一 国務大臣（国土交通大臣）

中川雅治 国務大臣（環境大臣，内閣府特命担当大臣）

小野寺五典 国務大臣（防衛大臣）

菅義偉 国務大臣（内閣官房長官）

吉野正芳 国務大臣（復興大臣）

小此木八郎 国務大臣（国家公安委員会委員長，内閣府特命担当大臣）

福井照 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

松山政司 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

茂木敏充 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

梶山弘志 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

鈴木俊一 国務大臣

陪席者：西村康稔 内閣官房副長官

野上浩太郎 内閣官房副長官

杉田和博 内閣官房副長官

横畠裕介 内閣法制局長官

閣議案件：別添案件表のとおり。

○一般案件 2件

○国会提出案件 12件

○公布（法律） 2件

○人事 5件

○配布 3件

いずれも，案件表のとおり，決定等となった。

議事内容：

○菅国務大臣：ただ今から、閣議を開催いたします。

まず、閣議案件について、野上副長官から御説明申し上げます。

○野上内閣官房副長官：一般案件等について、申し上げます。まず、「環境基本計画」の変更について、御決定をお願いいたします。本件につきましては、後程、環境大臣から御発言があります。

次に、質問主意書に対する答弁書12件について、お手元の資料のとおり、御決定をお願いいたします。

次に、法律の公布について、御決定をお願いいたします。「防衛省設置法及び自衛隊法の一部改正法」外1件が、13日の参議院本会議において、可決成立したものであります。

次に、人事案件について、申し上げます。まず、元農林水産省大臣官房技術総括審議官西郷正道外2名を特命全権大使に任命することについて、御決定をお願いいたします。おって、任命の上は、ネパール国等に駐箚を命じようとするものであります。

次に、水谷元外185名の叙位又は叙勲について、御決定をお願いいたします。

次に、配布資料といたしまして、「会計検査院法の規定に基づく報告書」があります。

本件は、「各府省庁の災害関連情報システムに係る整備、運用等の状況について」外1件の会計検査の結果について、会計検査院から内閣に対し報告があったものであります。

次に、件名外案件について、申し上げます。「日・マレーシア防衛装備品及び技術移転協定」に署名することについて、御決定をお願いいたします。本協定は、両国の間で移転される防衛装備品及び技術の取扱いに関する法的枠組みについて定めるものであります。なお、明日の署名まで不公表といたしたいので、御了承をお願いいたします。

次に、件名外の人事案件について申し上げます。平成30年春の叙勲4,154名、外国人叙勲140名、褒章716名について、それぞれ御決定をお願いいたします。なお、発令日までの間に死亡した者につきましては、叙勲候補者については死亡日の日付で勲章を授与することとし、褒章候補者については遺族追賞等の手続きをとることとしております。また、勲章又は褒章を授与することがふさわしくない事由が生じた候補者につきましては、その発令を留保することとしております。報道関係の取扱いにつきましては、叙勲及び外国人叙勲は、4月29日午前5時から、褒章は、4月28日午前5時から、それぞれ報道解禁となっておりますので、特に御留意いただきますようお願いいたします。これらのことに関連いたしまして、後程、内閣官房長官から御発言があります。

○菅国務大臣：次に、大臣発言がございます。まず、環境大臣。

○中川国務大臣：環境基本計画は、環境基本法に基づき、環境の保全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱等を定めるものであり、この度、中央環境審議会の答申を

受け、政府として決定するものです。

今般第5次となります本計画は、SDGs、パリ協定採択後に初めて策定される環境基本計画です。SDGsの考え方も活用しながら、環境政策による経済社会システム、ライフスタイル、技術などあらゆる観点からのイノベーションの創出や、経済・社会的課題の同時解決を実現し、将来に渡って質の高い生活をもたらす新たな成長につなげていくこととしています。

その中で、地域の活力を最大限に発揮する「地域循環共生圏」の考え方を新たに提唱し、各地域が自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合う取組を推進してまいります。

関係閣僚の皆様におかれましては、本計画の実現に向け、一体となって各政策に積極的に取り組んでいただくようお願いいたします。

○菅内閣総理大臣：次に、私から平成30年春の叙勲、外国人叙勲及び褒章について、申し上げます。

平成30年春の叙勲、外国人叙勲及び褒章の候補者については、厳正な審査を経てお手元に配付の資料のとおりとなりました。これらの候補者につきましては、閣議で御決定いただいた後、天皇陛下の御裁可を仰いだ上で、来る4月29日に発令する運びとなっております。

これをもちまして、閣議を終了いたします。

引き続き、閣僚懇談会を開催いたします。

御発言はございますか。

無いようですので、以上をもちまして、閣僚懇談会を終了いたします。

## 閣議案件

〔平成30年  
4月17日〕（火）

## ◎一般案件

資料あり  
資料あり

○環境基本計画の変更について（決定）（環境省）

## ◎国会提出案件

1. 衆議院議員櫻井周（立憲）提出公益財団法人日本相撲協会における「女性は土俵に上がってはいけない」というしきたりに関する質問に対する答弁書について（決定）

（内閣府本府）

1. 参議院議員有田芳生（立憲）提出関東大震災時における朝鮮人等虐殺事件に関する質問に対する答弁書について（決定）（警察庁）

1. 参議院議員川田龍平（立憲）提出カンボジアにおける法の支配の危機に関する質問に対する答弁書について（決定）（外務省）

1. 参議院議員有田芳生（立憲）提出日本人配偶者問題に関する質問に対する答弁書について（決定）（同上）

1. 参議院議員川田龍平（立憲）提出闘病中の高校生の学びの支援に関する質問に対する答弁書について（決定）（文部科学省）

1. 衆議院議員初鹿明博（立憲）提出入力業務における再委託に関する質問に対する答弁書について（決定）（厚生労働省）

1. 参議院議員川田龍平（立憲）提出精神障害者の非自発的入院と障害者権利条約の趣旨に関する質問に対する答弁書について（決定）

（同上）

1. 参議院議員川田龍平（立憲）提出高度プロフェッショナル制度の適用対象に関する質問に対する答弁書について（決定）（同上）

1. 参議院議員川田龍平（立憲）提出高度プロフェッショナル制度の立法事実に関する質問に対する答弁書について（決定）（厚生労働省）
1. 衆議院議員逢坂誠二（立憲）提出資源エネルギー庁によるニセコ高校の教育内容への不当な介入に関する質問に対する答弁書について（決定）（経済産業省）
1. 衆議院議員宮川伸（立憲）提出長距離巡航ミサイルに関する質問に対する答弁書について（決定）（防衛省）
1. 衆議院議員阿部知子（立憲）提出防衛大学校等における幹部候補人材育成に関する質問に対する答弁書について（決定）（同上）

◎公布（法律）

資料  
なし

☆

1. 防衛省設置法及び自衛隊法の一部を改正する法律（決定）
1. 東日本大震災における原子力発電所の事故による災害に対処するための避難住民に係る事務処理の特例及び住所移転者に係る措置に関する法律に規定する指定都道府県の議会の議員の選挙区に関する臨時特例法（決定）

◎人事

資料  
あり

〃

- 西郷正道外2名を特命全権大使に任命することについて（決定）
- ☆元桑名市長水谷 元外185名の叙位又は叙勲について（決定）

◎配布

- ☆会計検査院法第30条の2の規定に基づく報告書（2件）（内閣官房）
- ☆月例経済報告（内閣府本府）

[○署名あり ☆署名なし]

件名外案件

〔平成30年〕  
〔4月17日〕 (火)

◎一般案件

- 資料あり ○防衛装備品及び技術の移転に関する日本国政府とマレーシア政府との間の協定の署名について  
(決定) (外務省)

◎人 事

- 資料あり ○平成30年春の叙勲について (決定)  
〃 ○平成30年春の外国人叙勲について (決定)  
〃 ○平成30年春の褒章について (決定)

[○署名あり ☆署名なし]